

## 平成 27 年度 社会福祉法人東北福祉会 事業計画

### 1. 本部

<b>目 標</b>	<p>1. 法人・各事業所の安定経営に必要な全体調整の実施。</p> <p>2. 6年目を迎える「新・基本10か年計画」と経営戦略中期方針に基づいた実践。</p> <p>3. 理念、事業内容、将来展望、待遇の明確化による人財確保の強化。</p> <p>4. 法人内事業所の連携を強化し、諸課題の整理等協働による法人機能の強化。</p> <p>5. 法人・事業所における災害対策活動の充実と強化。</p>
<b>重 点 項 目 と 主 な 内 容</b>	<p>目標の達成に向け、各検討チーム、施設長会議により、下記重点項目の検討と実践を行う。</p> <p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>1. キャリア・パス・システムの改定／人財評価の評価項目等、制度・方法の改定</p> <p>2. 理念教育の充実、専門職者教育の充実／研修機会の確保と量的質的充実と多様化／個人別年間計画の策定と実行／学習成果を発揮できる機会の整備／職員採用計画の策定／求職者の傾向に応じた求人</p> <p>3. 法人組織当統治に関わる諸規定整備の実施</p> <p>4. 法人本部の機能強化／社会福祉法人のあるべき姿の研究</p> <p>5. 求職者の確保と離職者減少に向けた賃金体系の組み替えの実施</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、事業所運営における地域社会（住民）の参画と協同の推進</li> <li>・地域との災害時相互応援協定等の締結</li> <li>・社会福祉事業の将来像の研究</li> <li>・今後10年間に於ける地域福祉事業の具体像の研究</li> <li>・(仮称)社会貢献センターの設置</li> </ul>
<b>主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計等システム及び周辺機器類の更新 総額：33,549,898円（消費税込）※月額リース料（税込）：550,800円（60回払／5年リース）</li> <li>・法人共有ネットワークの更新：総額 総額：9,986,928円（消費税込）※月額リース料（税込）：162,928円（60回払／5年リース）</li> </ul>	
<b>主な事業内容等</b>	
<p>1. 重点項目の実施</p> <p>(1) 人財評価制度改正検討チームによる検討－上記重点項目1の検討と実践</p> <p>(2) 人財獲得・人財定着検討チームによる検討－上記重点項目2の検討と実践</p> <p>(3) 諸規定等見直し検討チームによる検討－上記重点項目3の検討と実践</p> <p>(4) 臨時施設長会議の開催－上記重点項目4、5の検討と実践及び地域公益活動の検討と実践</p> <p>2. 会議等の開催</p> <p>(1) 理事会・評議員会の開催（年4回実施：5月、7月、12月、3月）</p> <p>(2) 監事監査の実施（年2回実施：5月、12月）</p> <p>(3) 定例施設長会議の開催（年12回開催：毎月1回の定例開催）</p> <p>(4) 総務部課長会議の開催（年12回開催：毎月1回の定例開催）</p> <p>(5) 苦情解決第三者委員会の開催（年2回開催：9月、2月）</p> <p>3. 法人における研修（前年度からの継続事業）</p> <p>(1) ジェネリックソーシャルワーク学習会の開催</p> <p>(2) 事業所間連携におけるグループ交換研修の実施</p> <p>(3) ライフプラン学習会の開催</p> <p>4. 災害対策の実施</p> <p>(1) 地域防災拠点整備の継続実施</p> <p>(2) 宮城県における災害福祉広域連携ネットワーク設立への協力</p> <p>(3) 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード活動へ宮城支部としての協力</p>	

## 2. せんだんの杜

目 標	<p>1) サービスの質向上および多様化する地域の福祉ニーズに即応する先駆的・開拓的なサービス展開を模索する。</p> <p>2) 利用者家族も含め、多様な社会資源が有機的に連携・協働し、それぞれの得意とする活動を行いながら、支え合いのもと地域の生活福祉の向上を図る。</p> <p>3) キャリアパス制度の効果的運用を図りながら、重層的な人材育成活動を継続する。また、福祉に関する啓発活動や人材発掘にも注力し、福祉・介護人材確保における効率化を図る。</p> <p>4) 福祉を取り巻く社会情勢を踏まえ、社会福祉法人としての事業運営を吟味し、より効果的な組織経営を図る。また、サービス提供における事故ならびに労働安全衛生、災害等に対するリスクヘッジにより、安定的な組織運営を図る。</p>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>①PDCA サイクルを基軸とした、適正なケアマネジメントの展開。</p> <p>②社会福祉法人ならびに福祉サービスに求められる社会的ニーズを踏まえた事業展開。</p> <p>③約 20 年に渡る事業運営により習得した実績を基盤に、発展的・効果的な組織経営。</p> <p>④キャリアパス制度の効果的運用による重層的な人材育成の継続に加え、労働安全衛生にも注力し「資質の向上」「労働環境の改善」を図り、効率的に人的資源における課題解決を図る。</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>①次世代に向けた福祉に関する啓発活動や潜在する福祉・介護人材の発掘を実践し、「参入促進」など、人材確保における長期的課題解決を計画的に行う。</p> <p>②利用者家族および地域住民と共に「地域包括ケア」の趣旨を共有する機会を持ち、「自分事」として捉え、協議していくことで社会的包摂に向けた風土づくりを行う。</p> <p>③地域住民や様々な社会資源と共に多様化する社会的ニーズや非市場化的なニーズを抽出し、地域公益事業として能動的・開拓的な事業展開を行う。</p> <p>④地域に存在する福祉の事業所として、保有する知識・技術・資源等を用いた地域還元を行い、安心・安全な地域づくりに参画する。</p>			
<b>主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定</b>				
別紙「平成 27 年度当初予算案におけるせんだんの杜工事等案件一覧」参照				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、平成 27 年 1 月末時点での利用率）</b>				
No	事業所名	定員 (人)	27 年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘（従来型）	32	98.6	97.4
2	同上（ユニット型）	18	98.6	98.4
3	ケアハウスフェリコ館	30	96.6	97.0
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所	20	98.3	93.5
5	せんだんの杜訪問介護事業所	—	3502(時間)	4216(時間)
6	せんだんの杜国見ヶ丘通所介護事業所	10	67.6	69.8
7	せんだんの杜中山通所介護事業所（一般型）	10	61.2	59.2
8	せんだんの杜国見通所介護事業所	10	52.3	40.6
9	せんだんの杜居宅介護支援事業所	—	948(件)	946(件)
10	国見ヶ丘地域包括支援センター	—	2856(件)	2861(件)
11	杜の子ハウス（放課後等デイサービス）	10	93.0	92.8
12	遊杜家（放課後等デイサービス）	10	110.0	114.6
13	国見ヶ丘せんだんの杜保育園	99	106.0	106.0
14	国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園	28	107.0	107.0
15	せんだんの杜地域子育て支援センター	—	5700(件)	5692(件)
16	せんだんの家（児童自立援助ホーム）	11	83.3	61.7
備 考				

平成27年度当初予算における「せんだんの杜」設備整備工事等について

1. (老朽整備) ケアハウスフェリコ館「パッケージエアコン交換更新工事」	
必要性	老朽化及び耐用年数超過見込に伴う、平成25年度から段階的に施工している設備交換最終工事（PAC-6系統）
整備内容	既設PAC設備に対応できる省エネタイプ高効率パッケージエアコン
発注予定先	パナソニック ホームエンジニアリング（株） 北日本支店 （発注先は3か年継続となるため同一会社となる。）
予定価額	金4,374,000円（税込）
支払方法	割賦契約による72回分割払（支払額は三社見積合わせによる。）
支払資金	施設整備等積立資産取崩額を充当

2. (老朽整備) ケアハウスフェリコ館「居室用ルームエアコン交換更新工事」	
必要性	老朽化及び耐用年数超過見込に伴う交換。ただしスポット交換済み居室を除く。 1人室（19室） 2人室（1室）
整備内容	省エネタイプ高暖房能力ルームエアコン
発注予定先	日立ビルシステム （二社による見積合わせによる。）
予定価額	金4,320,000円（税込）
支払方法	3回分割払
支払資金	施設整備等積立資産取崩額を充当

3. (老朽整備) 特別養護老人ホームリベラ荘等本体施設における自家電気工作物／「高圧受配電設備の一部交換更新工事」	
必要性	老朽化及び耐用年数超過設備から順次交換（次年度以降も継続予定）
整備内容	①高圧進相コンデンサ設備交換 ②断路器・計器用変圧器・計器用変流器交換 ③VCB・OCR（真空遮断機・過電流保護継電器）交換
発注予定先	日本テクノ（株） （せんだんの杜高圧電気設備保安管理業務委託業者）
予定価額	金4,946,000円（税込）
支払方法	3回分割払
支払資金	施設整備等積立資産取崩額を充当

### 3. せんだんの杜ものう

<b>目 標</b>	1) 利用者満足度向上のための取組みとサービスの質向上 2) 地域貢献できる仕組みづくりと地域連携の強化 3) 組織・チーム力強化のための人財育成と人財確保 4) 安定した経営基盤構築のための経営マネジメント能力向上			
<b>重 点 項 目 と 主 な 内 容</b>	<p><b>【制度に基づく取組み】</b></p> ①利用者、入居者に対するアセスメントの重要性を理解する為の学びの機会を計画的に実践し、望む生活の実現に向けた支援を行う ②各職員がジェネリックソーシャルワーカーの役割であることを認識し、介護保険制度等事業運営に必要な制度理解に努め、更には相談機能を高められるよう努めていく ③対人援助専門職として、基本介護技術およびコミュニケーション能力向上のための学びの機会を定期的に設け、専門性の高い職員の育成に努める ④「一人ひとりが経営者である」という視点を職員全員が持てるよう、運営・稼働状況等の情報を基にした学びの機会を設ける。一方で、「節約」だけでなく生活の質を低下させない「工夫」の意識を高めていく <p><b>【地域公益活動】</b></p> ①福祉の町づくりを目指し、各種実習の受入れ、職場体験事業、認知症サポーター養成講座の開催、講師対応等、事業所の中にある「知識・技術」を地域へ還元し、地域貢献と福祉の担い手育成に寄与する ②現在すでに実施している自主事業サービス（ナイトケア・自主デイサービス・自主ヘルパー配食サービス）の継続を行い、住み慣れた地域での生活の継続を支援する ③ものう運営委員会、なかつやま・うしたグループホーム運営推進委員会の定期開催する中で、地域住民の声を吸い上げると共に更なる協働と連携を強化する ④地域内にある仮設住宅に住まわれている一人暮らし高齢者、障害者、認知症高齢者、老夫婦世帯等の生活状況の把握に努め、被災者の健康の保持・増進、生活基盤の再生に向けた支援活動の継続を関係団体・機関等と連携しながら実践する			
<b>主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定</b>				
・空調設備更新及び照明設備更新(LED設備導入)工事＝概算金額:約 60,000,000 円 ※「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」申請を行い、採択された場合に実施予定				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、平成 27 年 1 月末時点での利用率）</b>				
No	事業所名	定員 (人)	27年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	50	98.0	97.5
2	地域福祉センター通所介護事業所	15	75.0	68.9
3	ものう通所介護事業所	10	75.0	66.3
4	ものう短期入所生活介護事業所	15	106.7	106.7
5	ものう訪問介護事業所	—	660.0(時間)	611.8(時間)
6	ケアハウスフェリカ	15	99.0	98.6
7	なかつやま第一通所介護事業所	10	70.0	58.7
8	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業所	9	99.0	98.8
9	なかつやま短期入所生活介護事業所	2	—	71.3
10	うした通所介護事業所	10	80.0	74.6
6	うした認知症対応型共同生活介護事業所	9	99.0	98.2
12	うした短期入所生活介護事業所	1	—	—
13	ものう居宅介護支援事業所	—	120.0(件)	117.3(件)
14	石巻市ものう地域包括支援センター	—	110.0(件)	107.3(件)
15	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	24	17.0(人)	16.9(人)
16	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	35.0(人)	25.6(人)
備 考	うした短期入所生活介護事業所(基準該当サービス)は、H26.6.1 廃止 なかつやま短期入所生活介護事業所(基準該当サービス)は、H27.4.1 より休止予定			





## 5. せんだんの館

目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 長期的な安定経営を常に念頭に置き、その具現化のため、月間・年間の収支把握と分析を行いながら増収を図る。</li> <li>2. 「利用者主体」の基本方針に基づく人財育成とサービスの質向上を図ると共に、職員が働きがいをもてる「魅力ある職場づくり」を目指す。</li> <li>3. 安心・安全なサービス提供を実施するため、危機管理を徹底する。</li> <li>4. 地域住民のニーズに応じた事業所機能の強化と、新たなサービスの開発・提供を行う。</li> </ol>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎月の収支把握と分析を各部署と協同で行う。(稼働率、人件費、光熱水費や消耗品等のコスト管理、設備管理等を徹底する。)</li> <li>2. 新たな優先入所基準に基づく対応および特例入所の適切な運用を行うため、積極的に入居待機者の状況把握をし、迅速にサービス利用へ結びつける。</li> <li>3. ショートステイの空床利用、デイサービスの定員増加、予防運動利用者の増員を実施する。</li> <li>4. 各サービスにおける加算内容を熟知し、専門的サービスへの評価として積極的に算定を行う。</li> <li>5. 目標管理制度を基盤とし、日常的な職場内教育の実施と計画的な研修会・学習会の開催を行い、職員の価値観・倫理観・知識・技術の向上を目指した人財育成に取り組む。</li> <li>6. 入所時の本人及び家族の情報収集、事前評価の徹底、契約時におけるサービス提供内容の説明強化。</li> <li>7. 事故の原因分析及び再発防止策の検討を行い、事業所内での周知・徹底を図る。</li> </ol> <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「地域連携を考えるワーキング」の活動により、住民参加型の企画運営、広報誌の発行、各専門職の講師派遣を行う。</li> <li>2. 町内会との防災協定を締結し、防災訓練の協同の実施を継続、福祉避難所の機能強化を行う。</li> <li>3. 多様な実習やボランティア受入れ、職場体験事業の実施、地域への講師派遣などにより、福祉教育の醸成に寄与し、人材確保の充実につなげる。</li> <li>4. ホームページの活用を積極的に行うことで、地域へ向けた事業内容の紹介や情報提供を行い、透明性のある事業運営につなげる。</li> </ol>			
<b>主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定</b>				
電話設備更新 5,959,000 円				
<b>事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、平成27年1月末時点での利用率）</b>				
No	事業所名	定員 (人)	27年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	98.0	96.2
2	せんだんの館ショートステイ	20	93.0	97.7
3	せんだんの館デイサービス	35	81.5	78.4
備 考	<p>※平成26年4月から11月までの期間において、特別養護老人ホーム入居者1名が要支援の認定となる。そのため、ケアハウス等転居先の調整を行う期間については、特養の居室において空床ショートステイの対応を行ったため、この期間の利用はショートステイへ計上している。平成26年12月からは、要介護の認定となり、特別養護老人ホームへ再入居している。</p>			

## 6. 認知症介護研究・研修仙台センター

<b>目 標</b>	東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との有機的連携を深めながら、 1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業を実施する。			
<b>重点項目と主な内容</b>	<p><b>【制度に基づく取り組み】</b></p> <p>1. 研究事業 研究事業補助金等による研究事業</p> <p>(1) 研究調査 老人保健健康増進等事業／運営事業費における研究事業／文部科学省私立大学戦略的基盤形成支援事業</p> <p>(2) 研究の取り組み 研究事業の倫理的観点からの検討（倫理審査委員会）／研究資料の収集・整理／研究成果の報告／三センター研究成果発表会の開催</p> <p>(3) 研究成果の広報 DCnet 等による認知症啓発活動</p> <p>2. 研修事業 都道府県等の研修委託費等による研修事業</p> <p>(1) 認知症介護指導者養成研修の実施 第1回：6月1日～7月31日 / 第2回：8月17日～10月16日</p> <p>(2) フォローアップ研修の実施 第1回：1月25日～1月29日 / 第2回：2月22日～2月26日</p> <p>3. 運営事業 運営事業補助金による事業</p> <p>(1) センター運営委員会・外部評価委員会の開催</p> <p>(2) 認知症介護研究・研修センター全国運営協議会への出席</p> <p>(3) 三センター合同会議への出席</p> <p>(4) 認知症介護実践研修の企画・運営に関する指導・助言</p> <p>(5) 認知症介護セミナーの開催</p> <p><b>【地域公益活動】</b></p> <p>1. 認知症カフェの企画・運営</p> <p>2. 宮城県・仙台市・関係団体との連携による認知症啓発活動</p>			
<b>主な修繕・改修等工事、備品等購入の予定</b>				
予定なし。				
<b>研修別目標と前年度実績の比較</b>				
No	研 修 名	定員 (人)	27年度目標 (人)	前年度実績 (人)
1	第1回認知症介護指導者養成研修	20	22	14
	第2回認知症介護指導者養成研修	20	23	16
	第3回認知症介護指導者養成研修	20	—	15
2	第1回フォローアップ研修	20	13	14
	第2回フォローアップ研修	20	13	11

## 7. 組織体制

別紙のとおり

## 8. 人員体制

別紙のとおり





